

フィリピン 農業青年23人が来豊

今年の青年招へい事業は、協会の都合で短期の地方プログラムを受託しました。フィリピンの農業分野は初めてで、かつマレーシア以来の単一国でした。豊川市には有力な農業団体“JAひまわり”があり、その組織とノウハウを利用させてもらうことにより、より良いプログラムを設定できると考えての受託でした。一行は23人で、5月14日に来日して15日開講式、26日まで都内プログラムを受け、豊川へ27日到着しました。過去8年間科学技術開発分野でしたので、視察、研修先もがらりと変わりました。詳細は別記のとおりです。

今回、今までと大きく違ったのは、ホームステイがなくなったことです。実はSARSへの対応ですべてホテル住まいとなりました。そのかわり、ホームステイ部会の皆さんの発案で、30日にホームビジットが実現しました。宿泊はしないが、夜、数人ずつ了承いただいた家庭を訪問しました。青年たちには大変喜ばれました。

6月1日は御津町で田植えを見学しました。当初、同

り。自動の箱詰め作業に一同びっく



じくホームステイ部会が昼食用にカレーを作って食べてもらうことになっていましたが、フィリピン青年のお国恋しさに応えて、フィリピン料理も3品加えることになりました。彼らにはこれも大好評で、手をかけたかいがあったというものです。ホームステイ部会の皆さんお疲れさまでした。

6月4日東京で評価会があり、翌5日帰国の途につきました。評価会での評価も心配したような減点もなく、一同ほっと胸をなでおろしました。考えてみれば、ここ豊川市は農業部門でも全国的にみて誇れる分野がたくさんあります。アレンジの仕方で独自のプログラムを組むことも可能で、今回貴重な新しい経験ができました。



フィリピン料理を作る研修生。お国の味が恋しかったようです。

今年度の研修内容

- 5月14日 来日(成田)
- 15日~18日 開講式(東京)・共通プログラム
- 19日~26日 都内プログラム
- 27日 来豊 市長表敬訪問
交流の夕べ
- 28日 ひまわり農協関連施設見学
グリーンセンター音羽・カントリーエレベーター・トマト集出荷場と栽培ハウス
中部営農センターで講義
- 29日 青果市場見学
新城高校農業科見学実習
- 30日 トヨタ自動車見学
- 31日 八丁味噌見学
万場調整池見学
- 6月1日 農業実地見学
田植え・メロンハウス・稲育苗ハウス
灌漑施設見学
大島ダム・宇連ダム・大野頭首工
- 2日 自主研修
送別会
- 3日 離豊
- 4日 評価会・歓送会(東京)
- 5日 帰国(成田)

あなたの 身近に
「ベストな ひまわり」

ひと・夢・いいね。

 **JAひまわり**

〒442-8517 豊川市諏訪1丁目1番地
(0533)85-3171



夢の旅へ
出かけよう!!

旅行のお問い合わせ・お申し込みは

JAひまわり 旅行センター

プリオ4F (0533)89-3055
営業時間 / AM10:00 ~ PM7:30

